



育成会（盆踊り大会）全体会議開催

5月26日（土）午後7時より大塚児童館で育成会全体会議が開催され、盆踊り大会実施についての原案が提示され、話し合いが行われました。下記のとおり決定いたしましたので皆様ふるってご参集ください。



第40回納涼盆踊り大会のご案内

日時：7月14日（土）午後5時から8時半まで

場所：大塚児童館広場

◆模擬店：午後5時より販売開始（杏仁豆腐、綿菓子、かき氷、焼きそば、ポップコーン、ヨーヨー釣り、飲み物、フルーツ、磯部餅、焼き鳥、コーヒーゼリー）

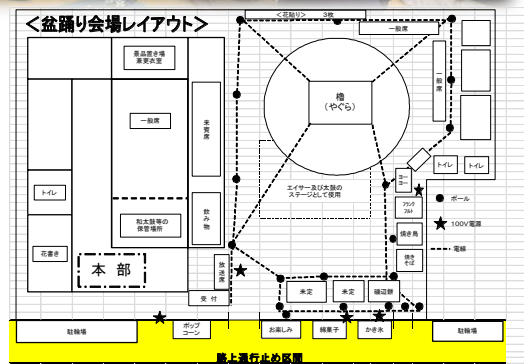
◆和太鼓演奏：午後6時10分～

◆エイサー演技：午後6時45分～

◆盆踊り：19:20～20:00午後7時20分から8時まで

◆お楽しみ抽選会：午後8時より予定

雨天の場合は15日（日）に順延になります。当日は右図のように大塚児童館前の道路は通行止めになりますので、徒歩でお越しください。



ごみゼロキャンペーン実施



『あいかわごみゼロ・キャンペーン』が5月27日（日）晴天の中、愛川町で一斉に実施されました。大塚区でも午前8時より、子供から大人まで230名にご参加いただき、大塚区全体で沢山のゴミを回収して、きれいな大塚区となりました。同時に大塚児遊園地（山王山）の草刈も育成会の皆さんにより行われ、子供達も遊びやすくなりました。大塚児童館にはきれいな花も植えられました。暑い中、多数の皆様のご協力ありがとうございました。



総勢230名の会員の皆様に参加していただきました



旧平和クリニック



大塚児遊園地（山王山）



大塚児童館

区内3カ所にごみ収集場所が設置され、沢山のゴミが集められました

いきいき健康体操アンケート調査結果

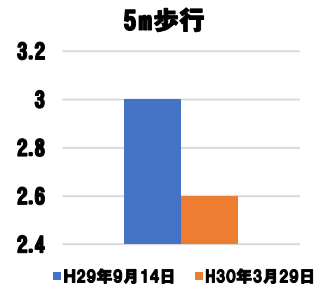
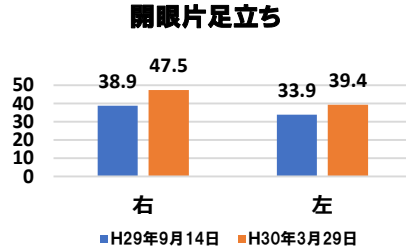
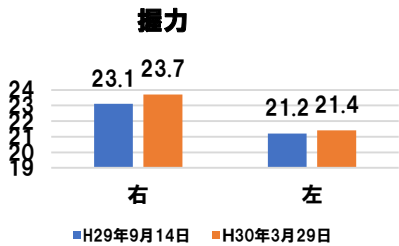
表1

【大塚区】		回答者：11人	
モデル地区健康づくり事業に参加しての自覚的効果		数(人)	割合(%)
1	体力がついた	3	27.3
2	腰痛や膝の痛みがなくなった	3	27.3
3	歩く時に杖やシルバーカーがいなくなった	0	0
4	階段の上り下りが楽にできるようになった	3	27.3
5	靴下を履いたり、正座をする等の日ごろの動作が楽になった	2	18.2
6	買い物に行くことが楽になった	4	36.4
7	たいていの物が噛めるようになった	0	0
8	食べこぼしがなくなった(少なくなった)	0	0
9	飲み込みやすくなった	1	9.1
10	食事がおいしくなった	3	27.3
11	おしゃべりが楽になった	2	18.2
12	気持ちが明るくなった	2	18.2
13	友人・知人ができた(増えた)	7	63.6
14	体操以外の楽しみが増えた	2	18.2
15	体操以外の日にも出かけるようになった	3	27.3
16	以前していてできなくなった趣味が再びできるようになった	0	0

愛川町役場健康推進課が実施する『いきいき健康体操』の過去2回の体力測定時におけるアンケート調査結果が公表されました。表1で示すように、自覚的効果のアンケートでは、16項目中11項目において10%以上が効果ありと回答しており、そのうち7項目では20%以上の自覚効果が認められました。モデル地区健康づくり事業におけるいきいき健康体操は、クオリティ・オブ・ライフ quality of life(生活の質)に効果があることがわかりました。実際の体力測定において(表2)、握力、開眼片足立ち、5m歩行では、5段階評価でおおむね4以上のスコアを示し、体力の向上あるいは維持に効果があるという結果でした。グラフは、1回目と3回目の体力測定の結果をグラフにしたものです。このようにいきいき健康体操は快適な生活に役立つことから、これからも沢山の皆様にご参加いただき、健康で快適な生活を送っていただきたいと思います。

表2

	握力			開眼片足立ち			5m歩行	
	右	左	5段階評価	右	左	5段階評価		5段階評価
H29.9.14	23.1	21.2	3.9	38.9	33.9	4.4	3	4.6
H30.3.29	23.7	21.4	3.9	47.5	39.4	4.8	2.6	4.9



迫りくる災害に備えてNo.3 防犯士 齋藤増雄

出火防止対策について(その1)

阪神淡路大震災では、285件もの火災が発生し、その焼失面積は、834,663㎡にも及ぶ市街地大火となった。

◆ 同時多発火災

出火件数285件のうち206件(72%)が、地震発生当日に起きており、平成7年1月17日(火)午前5時46分に発生した地震により、僅か14分の間に87件の火災が発生、さらに午前6時から8時の間に54件、午前8時から10時までにさらに33件と発生した。とりわけ、地震発生直後の僅か十数分の間に、同時多発火災は消防の対応能力はるかに上回り、市街地大火となった。

阪神淡路大震災の犠牲者の1割は、火災による悲惨な焼死であった。

◆ 出火原因

285件のうち「不明」の146件を除くと、電気による発熱体(電気ストーブ・観賞魚用ヒーター)電気機器(白熱灯スタンド・蛍光灯)電灯 配線(屋内配線・コード等)が出火原因であった。

※通電火災⇒地震発生により停電した後、通電した際ガス管の破損で充満したガスに配線のショートや家電のスイッチから引火し出火したり、転倒した電熱器のスイッチが入り、通電により加熱し、火災になることを言う。

◆ 避難する時は必ず、電気ブレーカーを落とすことが大切です。

次回も、出火防止対策についての続きを掲載します。

お詫びと訂正

大塚だよりNo.3に掲載いたしました『迫りくる防災に備えてNo.2』が『迫りくる災害に備えてNo.2』の誤りでした。お詫びと訂正いたします。

7月の予定

- 7/7(土):第2回組長会議
- 7/14(土):盆踊り大会
- 7/23(土):避難所会議
- 7/29(土):子供みこし

コラム:蚊のはなし

蚊はハエ目に属する昆虫で、日本には100種類くらい生息しています。ヒトを含めた動物から血を吸いますが、すべての種類が血を吸うのではなく約一割の種類だけで、しかもメスだけしか血を吸いません。蚊は刺した時に唾液(これには血を固まらなくする成分が含まれています)を入れるのでアレルギーが起ころうと痒くなったり、その時に病原体がはいることもあります。蚊が移す病気には、マラリアやフィリアなどの寄生虫病、野口英世で有名な黄熱病や日本脳炎なども蚊を介して移るウイルス病です。代表的な蚊は、いわゆるヤブ蚊と言われるヒトスジシマカです。これは庭など野外で多くみられるものです。この蚊は少し前に問題になったテング熱を媒介します。さらにアカイエカ、この蚊は家の中で夜飛び回っている蚊です。ヒトの日本脳炎や犬猫のフィリア症という病気を移します。蚊に刺されると痒いし、腫れるし不快ですが皆さんはどのように予防していますか?蚊取り線香?防虫剤?それも良いものが出ていますが、野外ではあまり効果がありません。昔から使われているハッカ油は、結構効果があるようです。夏ですので、塗るとスースーして気持ちよく、意外と長持ちします。薬局に売っていますので、少しの消毒用アルコールを入れてから、水で10倍くらいに希釈して使います。是非、試してみてください。最後に、このように嫌われ者の蚊ですが、水をきれいにしたり、他の生物の餌になったりして、地球に住む生き物のバランスを取っているとされています。もし、地球上に蚊が居なくなったら、この地球はどうなってしまうのでしょうか?